

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基礎看護学 生活援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	大谷眞由美 七瀬光美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人間にとって生きるために必要な食事・栄養、排泄の意味を理解し、対象が健康な生活を送るために必要な基礎知識、援助技術を学習する。また、看護の有効性を裏付ける根拠を明らかにする必要性を理解し、模擬患者やシュミレーターにより実技の実践をする。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト・課題提出状況並びに内容・技術演習参加状況・筆記試験により総合的に評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統的看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 II 医学書院 看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
講義前に事前課題(演習手順書・課題レポート)を提示する。 演習後は演習後の振り返り課題を提示する。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	食事援助の基礎知識として消化・吸収のメカニズムが説明できる	基礎看護学 II 配布資料	(課題) 消化器系の構造と名称を 自己学習	
		各コマに おける 授業予定	健康生活における食事の意義 食事を摂取する身体の機能と消化・吸収のメカニズム			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	摂食・嚥下能力のアセスメントの方法が説明できる	基礎看護学 II 配布資料	(課題) 咀嚼・嚥下のメカニズムを 自己学習	
		各コマに おける 授業予定	食事摂取基準について、食欲と食行動に関する要素 摂食・嚥下能力のアセスメント 医療施設で提供される食事の種類と形態			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	栄養状態のアセスメントの方法を理解し、BMIを計算することができる	基礎看護学 II 配布資料	(課題) 皮下脂肪厚の測定方法を 調べ学習	
		各コマに おける 授業予定	栄養状態のアセスメントの方法(BMIの意義と計算方法、評価基準) 栄養アセスメントに必要な検査データとその見方 摂食・嚥下訓練の方法とその実際			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	食事介助の具体的な方法を説明できる。	基礎看護学 II 配布資料 DVD	(課題) 皮下脂肪厚の測定方法を 調べ学習	
		各コマに おける 授業予定	食事援助の実際の方法 食事援助前・食事中・食後の観察ポイント 非経口的栄養摂取法について(経管栄養の種類と特徴)			
第 5 回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	食事介助技術(全介助)の実習を行う	基礎看護学 II 看護がみえる 演習に必要な物品	(課題) 食事援助時の注意点、留 意点を調べ学習、食事援 助の手順書作成、演習の 振り返り	
		各コマに おける 授業予定	食事援助技術の実際			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	食事介助技術(全介助)の実習を行う	演習に必要な物品	(課題) 食事援助時の注意点、留意点を調べ学習、食事援助の手順書作成、演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	食事援助技術の実際		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の排泄(排尿・排便に関するメカニズム、意義、排泄のアセスメントの方法)を理解し、健康的な生活を送るために必要な援助方法と基礎知識を習得する。	基礎看護学Ⅱ 援助に必要な物品 DVD	(課題) レポート課題 講義の復習(小テスト実施)
		各コマにおける授業予定	排泄の意義～生物的・心理的・社会的意義 自然は遺尿および自然排便の基礎知識 排尿・排便のアセスメント		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然排尿・排便の援助方法を学ぶ。床上排泄やおむつによる排泄介助の方法の基礎知識を習得する。	基礎看護学Ⅱ 援助に必要な物品 DVD	(課題) レポート課題 便器・尿器のあて方、おむつ交換の手順書作成 講義の復習(小テスト実施)
		各コマにおける授業予定	床上排泄の援助～尿器・便器のあて方 トイレにおける排泄介助 おむつによる排泄(おむつ交換)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	床上での排泄援助、おむつによる排泄援助を模擬患者とシュミレーターで実践する。	基礎看護学Ⅱ 援助に必要な物品 シュミレーター	(課題) 演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	床上排泄の援助 演習～尿器・便器のあて方 おむつによる排泄援助 演習おむつのあて方・おむつ交換 模擬患者とシュミレーターで実践		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	排尿困難のある人への援助方法と基礎知識を習得する。	援助に必要な物品 DVD	(課題) レポート課題 一時導尿の手順書作成 講義の復習(小テスト実施)
		各コマにおける授業予定	排尿困難のある人への援助～導尿(一時的・持続的)・失禁の原因と対応		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	排尿困難にある人への援助で、一時的導尿の援助をシュミレーターで実践する。	援助に必要な物品 シュミレーター	(課題) 演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	排尿困難のある人への援助の演習～導尿(一時的) シュミレーターで実践		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	排尿困難にある人への援助で、一時的導尿の援助をシュミレーターで実践する。	基礎看護学Ⅱ 援助に必要な物品 シュミレーター	(課題) 演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	排尿困難のある人への援助の演習～導尿(一時的) シュミレーターで実践		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	排便困難のある人の援助の方法(浣腸・摘便)と基礎知識(便秘)を習得する。また、ストーマケアについて理解する。	基礎看護学Ⅱ 援助に必要な物品 DVD	(課題) レポート課題 浣腸の手順書作成 講義の復習(小テスト実施)
		各コマにおける授業予定	排便困難のある人への援助～便秘について 便秘のアセスメント・便秘改善の看護・浣腸・摘便 ストーマケア		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	排便困難にある人への援助で、浣腸の援助をシュミレーターで実践する。	基礎看護学Ⅱ 看護がみえる 援助に必要な物品 シュミレーター	(課題) 演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	排便困難のある人への援助の演習～浣腸 シュミレーターで実践		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	排便困難にある人への援助で、浣腸の援助をシュミレーターで実践する。	基礎看護学Ⅱ 看護がみえる 援助に必要な物品 シュミレーター	(課題) 演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	排便困難のある人への援助の演習～浣腸 シュミレーターで実践		